

平成29年度第1四半期 決算概要

平成29年8月7日

このページは空白です。

目次

業績ハイライト 3

平成29年度第1四半期決算

* 特に表示がないものについては「銀行単体」の計数を記載しております。

◇ 29年度第1四半期決算の概要	4
◇ コア業務粗利益	5
◇ コア業務粗利益・増減要因	6
◇ 預貸金 平残・利回り	7
◇ 貸出金(1)(2)(3)	8-10
◇ 預金	11
◇ 預り資産	12
◇ 有価証券運用	13
◇ 経費・OHR	14
◇ 信用コスト・開示債権	15
◇ グループ会社(めぶきリース・めぶき証券)	16

平成29年度業績見通し

◇ 29年度業績見通し	17
◇ 自己資本比率・株主還元	18

統合施策の進捗

◇ ステップアップ180プラン	19-20
-----------------	-------

29年度第1四半期実績

- ◎ めぶきFG連結純利益* は120億円(業績予想に対する進捗率 30.1%) * 親会社株主に帰属する四半期純利益
- ◎ 2行合算の四半期純利益は、株価水準等を踏まえ、政策保有株式等の売却を先行させたことにより、業績予想に対する進捗率は33.1%と高進捗。
- ◎ 経営統合シナジーは、29年度計画27億円に対し、第1四半期は7億円(進捗率25.2%)と計画通り。

29年度業績見通し

- ◎ 29年度業績見通しは、当初公表(29年5月12日)から変わらず。
- ◎ 連結経常利益585億円(前年度比+62億円)、連結純利益* 400億円(同△1,184億円)を計画。
＜常陽銀行＞ 単体純利益230億円(前年度比△14億円) ＜足利銀行＞ 単体純利益210億円(同△54億円) * 親会社株主に帰属する当期純利益

配当

- ◎ 29年度は、配当政策*を踏まえ、年間11円(中間5.5円、期末5.5円)を予想。
* めぶきFG配当政策 : めぶきFGとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。

29年度第1四半期決算の概要

●めぶきFG連結

(単位:億円)

	29年度 第1四半期	進捗率	業績 予想 (通期)
経常利益	179	30.7%	585
親会社株主に帰属する 四半期純利益	① 120	30.1%	400

【連結調整】 $\Delta 36$ 億円 = ② - ①

○有価証券連単簿価差に伴う調整額 $\Delta 32$ 億円

○劣後ローンの支払利息、経費等 $\Delta 4$ 億円

●2行合算+銀行業以外のグループ会社

	29年度 第1四半期	進捗率	業績 予想 (通期)
四半期純利益	② 156	32.5%	480

(ご参考)2行合算・常陽銀行・足利銀行の実績

(単位:億円)

	29年度第1四半期						【業績予想に対する進捗率】		
	2行合算		常陽銀行		足利銀行		2行 合算	常陽 銀行	足利 銀行
	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比			
業務粗利益	482	$\Delta 35$	275	$\Delta 26$	206	$\Delta 9$	26.3%	26.6%	26.0%
資金利益	397	$\Delta 2$	219	$\Delta 2$	177	$\Delta 0$	27.1%	26.7%	27.5%
役務取引等利益	77	$\Delta 1$	50	+3	26	$\Delta 4$	24.4%	28.7%	19.1%
その他業務利益他 (うち国債等債券損益)	7 1	$\Delta 31$ $\Delta 33$	5 1	$\Delta 26$ $\Delta 29$	1 0	$\Delta 4$ $\Delta 4$	15.4% 6.5%	14.5% 5.9%	19.1% -
経費	287	$\Delta 8$	170	$\Delta 7$	117	$\Delta 1$	24.5%	25.0%	23.9%
うち人件費	150	$\Delta 2$	85	$\Delta 3$	64	+0	-	-	-
うち物件費	111	$\Delta 2$	69	$\Delta 0$	42	$\Delta 2$	-	-	-
実質業務純益	194	$\Delta 26$	105	$\Delta 19$	89	$\Delta 7$	29.4%	29.5%	29.2%
コア業務純益	192	+6	103	+9	89	$\Delta 3$	30.5%	31.7%	29.2%
一般貸倒引当金繰入額(a)	$\Delta 2$	$\Delta 9$	$\Delta 0$	$\Delta 6$	$\Delta 2$	$\Delta 2$	-	-	-
業務純益	197	$\Delta 17$	105	$\Delta 12$	91	$\Delta 5$	29.6%	29.2%	30.1%
臨時損益	16	+5	9	+10	7	$\Delta 4$	$\Delta 65.0\%$	$\Delta 36.9\%$	-
うち不良債権処理額(b)	11	+3	8	$\Delta 1$	3	+5	17.8%	20.0%	14.3%
うち株式等関係損益	33	+10	24	+9	9	+0	51.9%	60.0%	38.8%
経常利益	213	$\Delta 12$	114	$\Delta 2$	98	$\Delta 10$	33.3%	34.2%	32.4%
特別損益	$\Delta 5$	$\Delta 4$	$\Delta 4$	$\Delta 2$	$\Delta 1$	$\Delta 1$	-	81.0%	92.6%
四半期純利益	146	$\Delta 10$	77	$\Delta 3$	68	$\Delta 7$	33.1%	33.8%	32.5%
信用コスト (a) + (b)	8	$\Delta 5$	7	$\Delta 8$	1	+2	14.5%	21.9%	4.1%

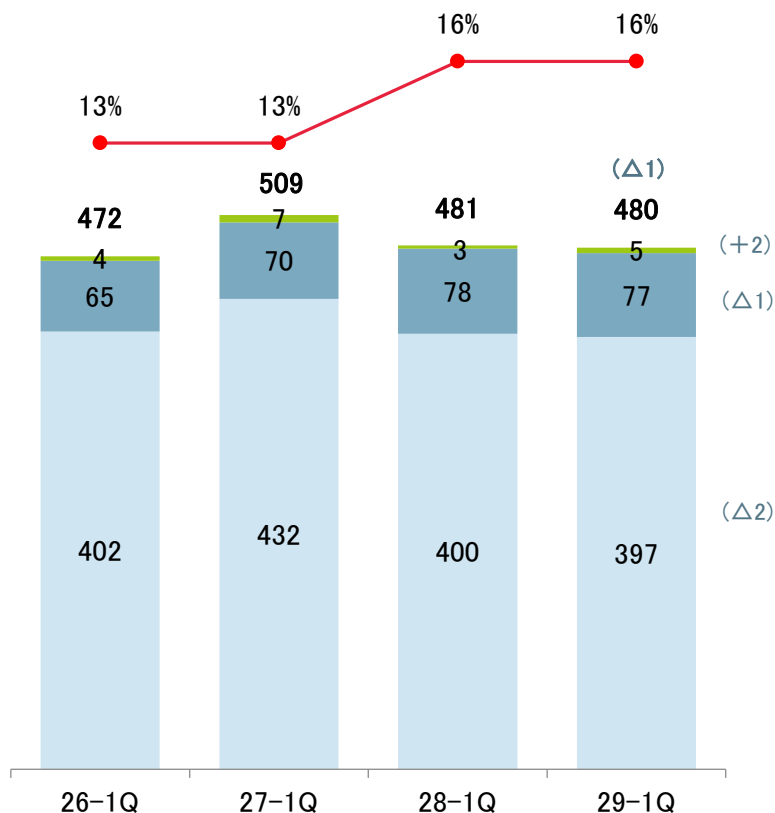
コア業務粗利益 (国債等債券損益を除く業務粗利益)

*カッコ内は前年同期比の増減

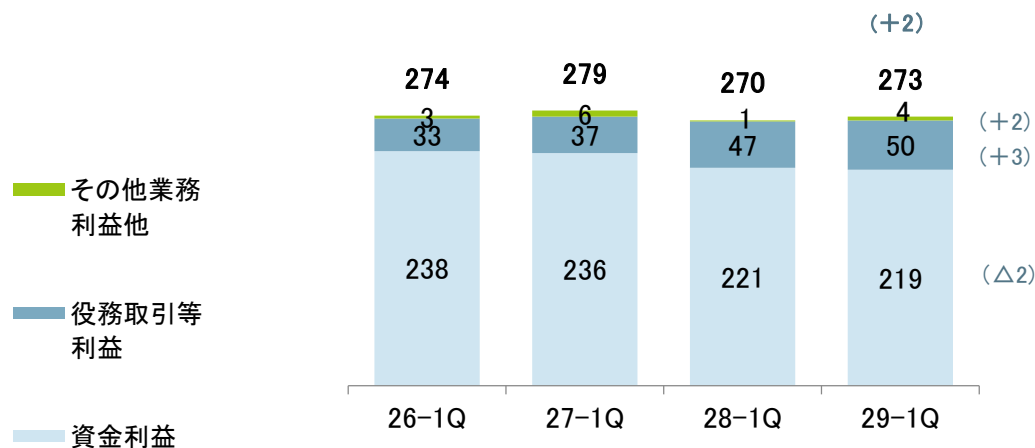
◇ コア業務粗利益は前年同期比横這い。

資金利益・預り資産手数料は減少となったが、コンサルティング営業の強化により法人役務が増加。

● 2行合算 (単位:億円)

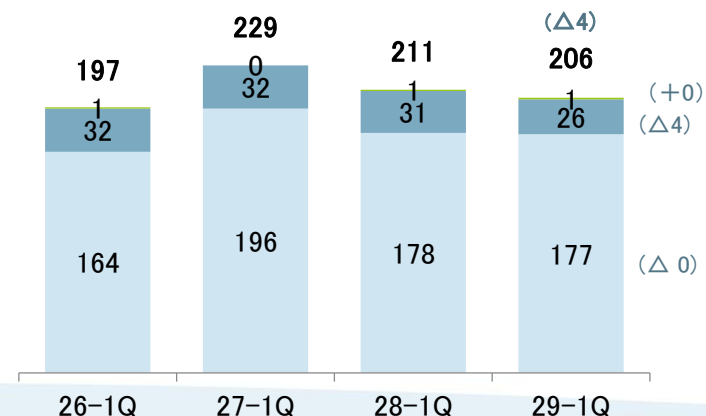


● 常陽銀行



(*) 「その他業務利益他」には、金利スワップによるコストを含む

● 足利銀行



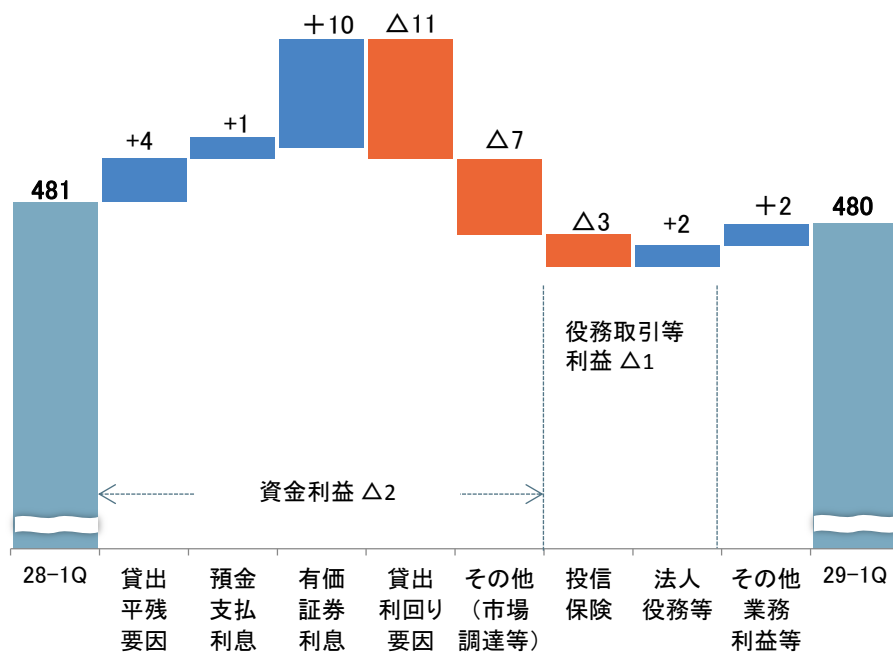
* 役務比率 = 役務取引等利益 / コア業務粗利益

コア業務粗利益・増減要因

増減要因(2行合算)

●2行合算

(単位:億円)



(ご参考)有価証券利息配当金に含まれる私募投信解約益 (単位:億円)

		27年度	28年度	29年度1Q
常陽	年度	8	17	0
	(うち下期)	(4)	(16)	-
足利	年度	37	36	22
	(うち下期)	-	(4)	-

うち資金利益の増減内訳(銀行別)

●常陽銀行

(単位:億円)

要因	前年同期比	(国内)		(国際)	
		平残・利回り変化	平残・利回り変化		
貸出金利息	平残	+2	+1 (+426億円)	+1 (+261億円)	
	利回り	Δ 4	Δ 6 (Δ4BP)	+1 (+62BP)	
預金支払利息(Δ)	Δ 0	Δ 0	-	+0	-
有価証券	平残	Δ 0	Δ 1 (Δ451億円)	+0 (+54億円)	
	利回り	+3	+0 (+0BP)	+3 (+30BP)	
市場調達・運用等(Δ)	+2	Δ2	-	+5	-

●足利銀行

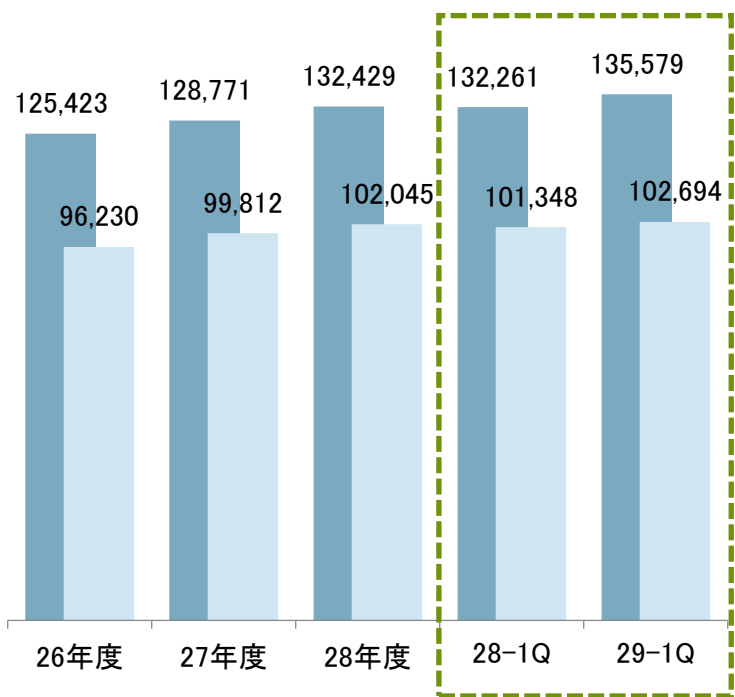
要因	前年同期比	(国内)		(国際)	
		平残・利回り変化	平残・利回り変化		
貸出金利息	平残	+1	+1 (+600億円)	+0 (+57億円)	
	利回り	Δ 7	Δ 7 (Δ7BP)	+0 (+79BP)	
預金支払利息(Δ)	Δ 0	Δ 1	-	+0	-
有価証券	平残	+5	+3 (+803億円)	+2 (+466億円)	
	利回り	+2	Δ 0 (Δ3BP)	+2 (+60BP)	
市場調達・運用等(Δ)	+4	Δ 0	-	+4	-

預貸金 平残・利回り (国内+国際)

* 特に表示がないものについては「国内+国際」の計数を記載

預金・貸出金の平残

● 2行合算 (単位: 億円)



【預金】
+3,317億円
(+2.5%)

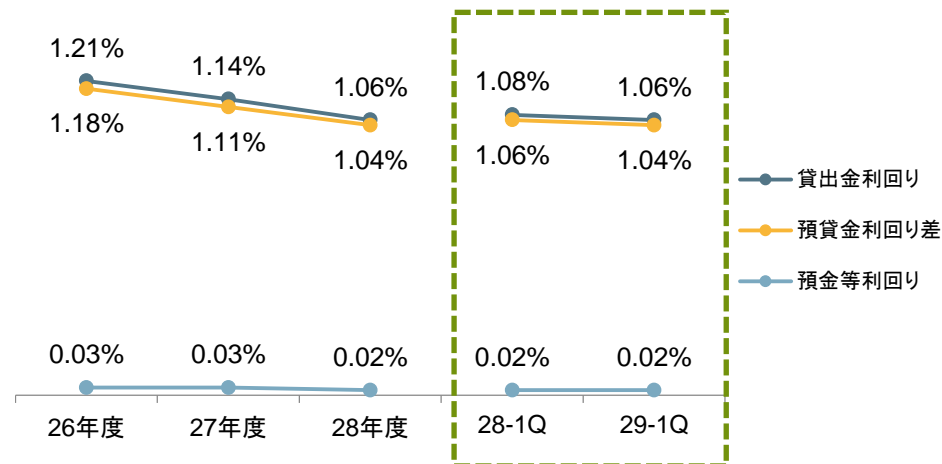
【貸出金】
+1,345億円
(+1.3%)

■ 預金
■ 貸出金

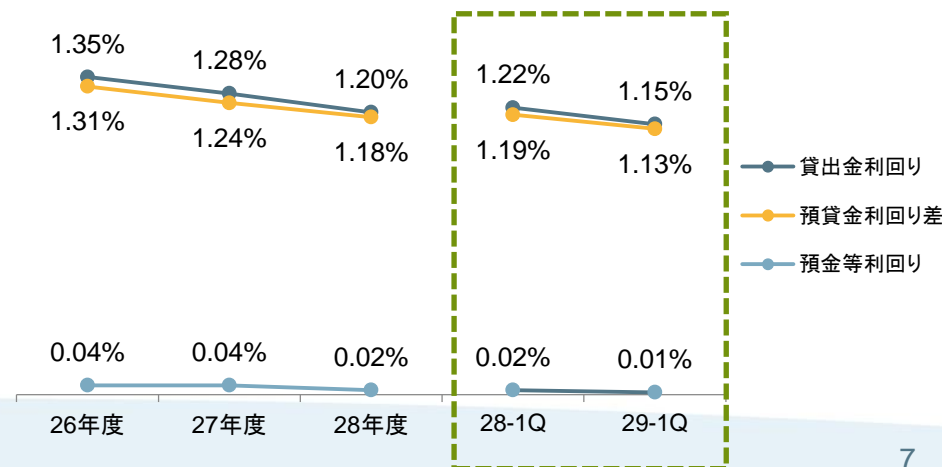
<預金>	26年度	27年度	28年度	28-1Q	29-1Q
常陽	75,993	78,341	80,638	80,908	82,668
足利	49,430	50,430	51,791	51,353	52,910
<貸出金>	26年度	27年度	28年度	28-1Q	29-1Q
常陽	55,775	58,082	59,589	59,106	59,794
足利	40,455	41,730	42,456	42,242	42,900

預金・貸出金の利回り

● 常陽銀行



● 足利銀行



貸出金(1) 人格別末残

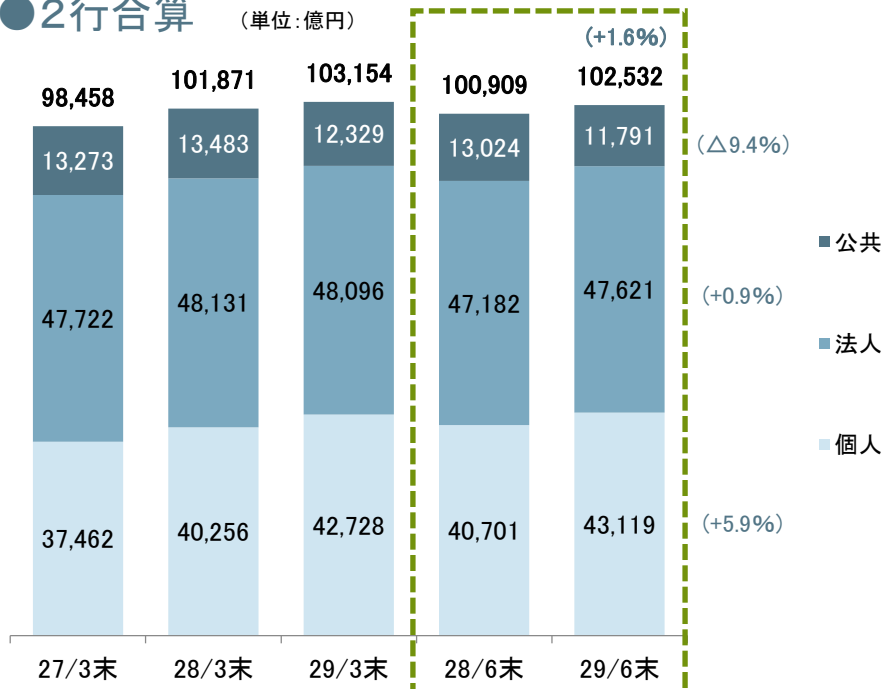
* カッコ内は前年同期末比の増減率

◇ 個人貸出金は、前年同期末比+2,418億円(年率+5.9%)。住宅関連ローンは同+2,320億円。(P9参照)

◇ 法人貸出金は、前年同期末比+438億円。地元は同+976億円。(P10参照)

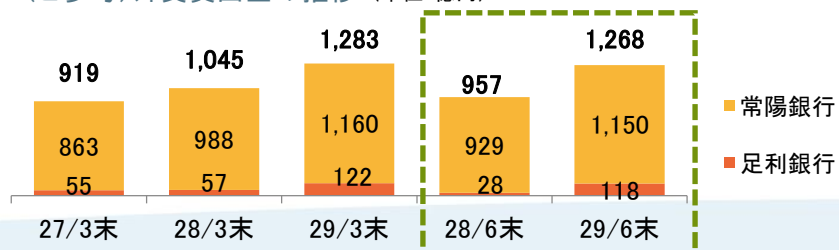
● 2行合算

(単位:億円)

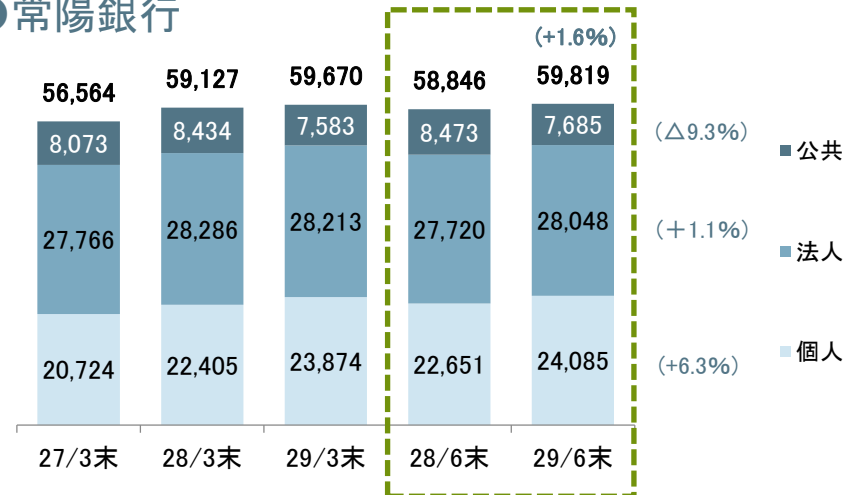


(*) 個人事業主は「個人」に含む。金融は「法人」に含む。

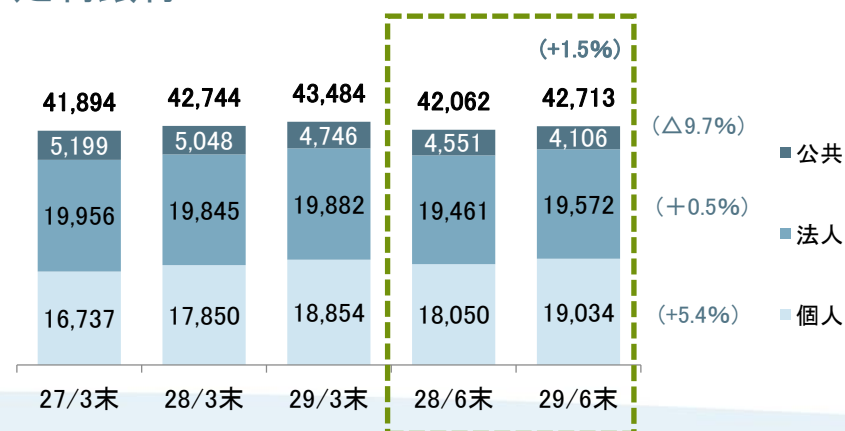
(ご参考) 外貨貸出金の推移 (単位:億円)



● 常陽銀行



● 足利銀行

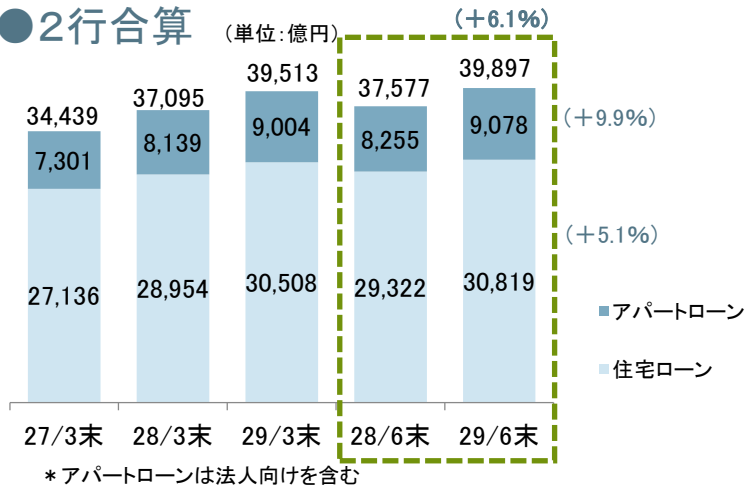


貸出金(2)住宅関連ローン・無担保ローン

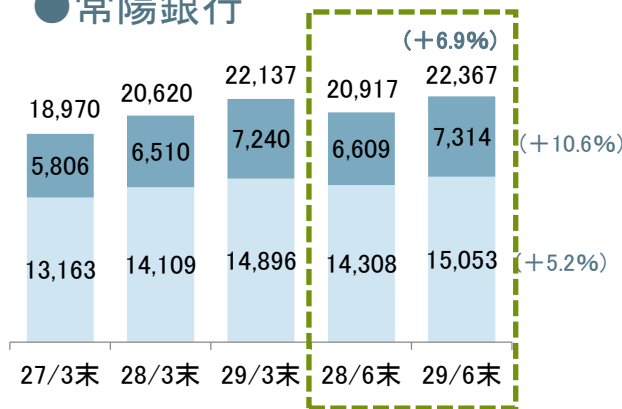
* カッコ内は前年同期末比の増減率

住宅関連ローン末残

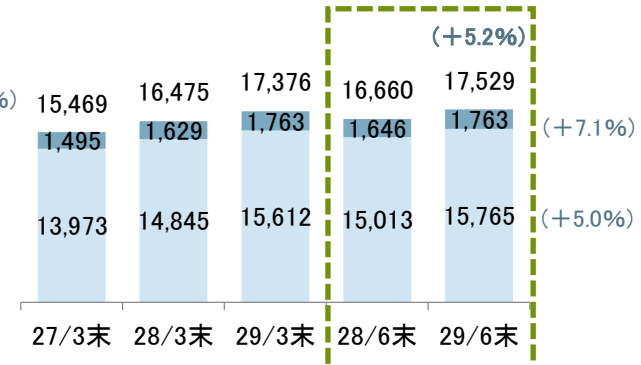
● 2行合算



● 常陽銀行

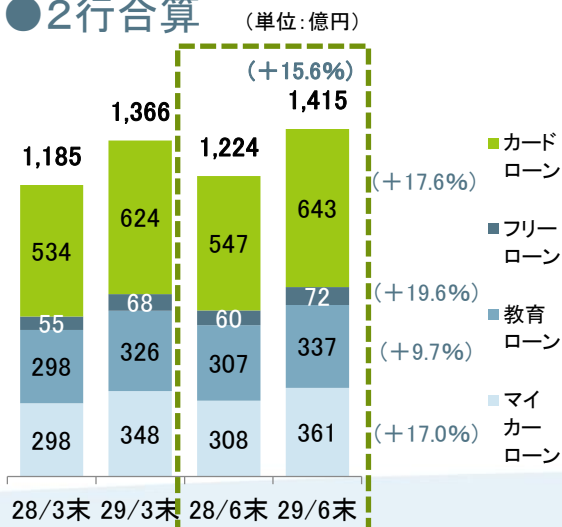


● 足利銀行

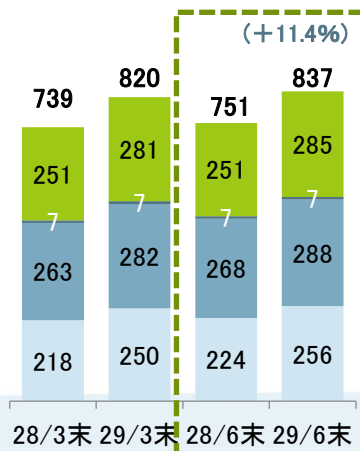


無担保ローン末残

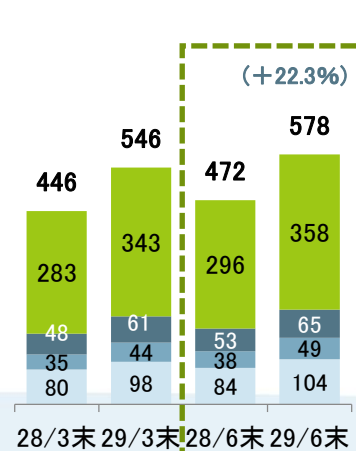
● 2行合算



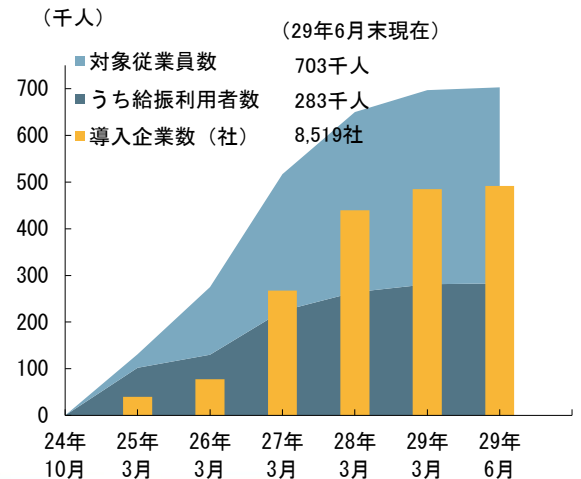
● 常陽銀行



● 足利銀行



職域サイト(常陽銀行)



◆ 足利銀行 29年10月スタート予定

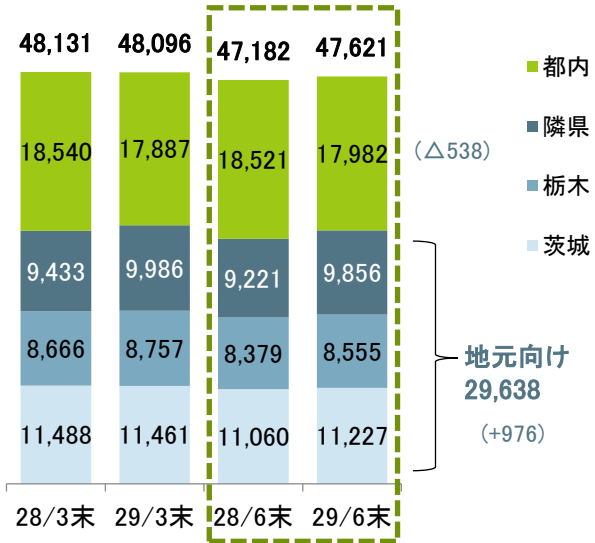
貸出金(3)法人向け (地域別/企業規模別)

* カッコ内は前年同期末比の増減

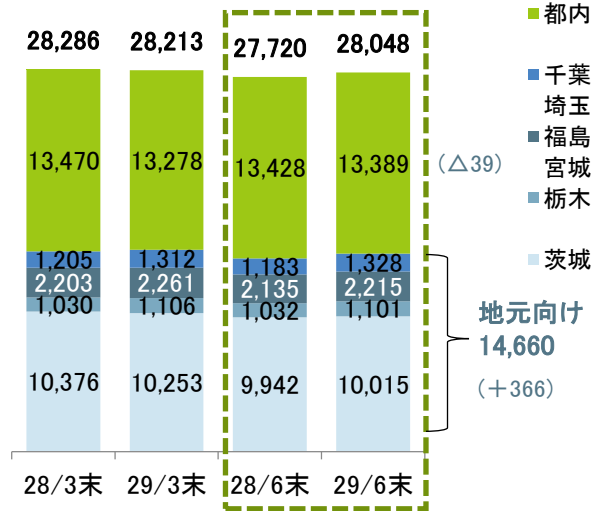
地域別末残

●2行合算

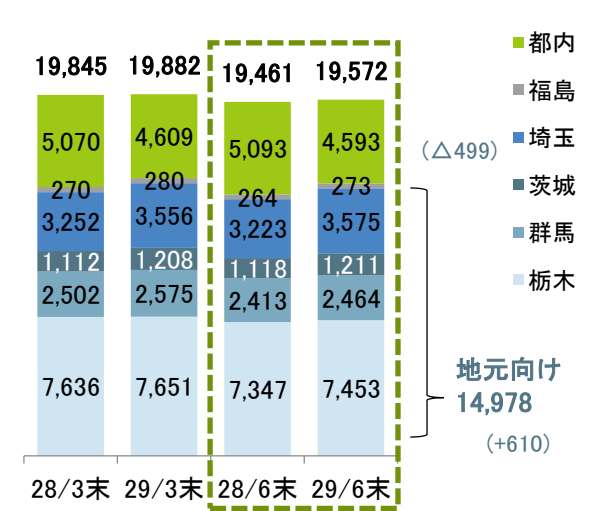
(単位:億円)



●常陽銀行



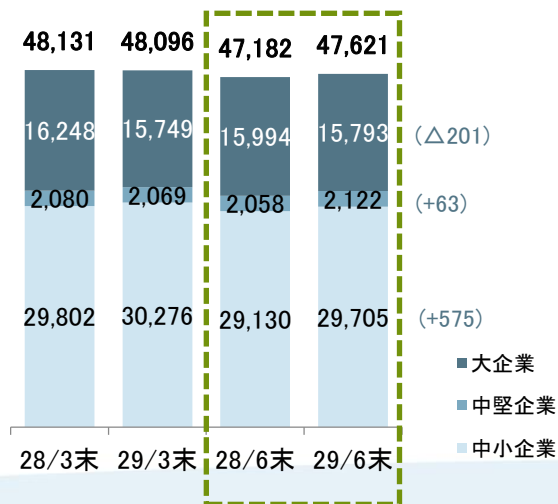
●足利銀行



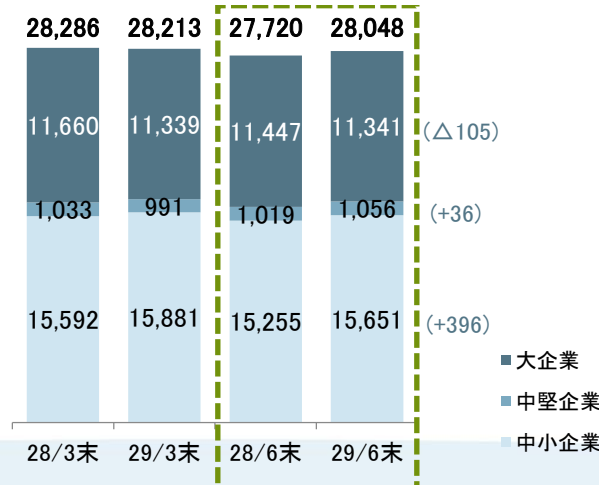
企業規模別末残

●2行合算

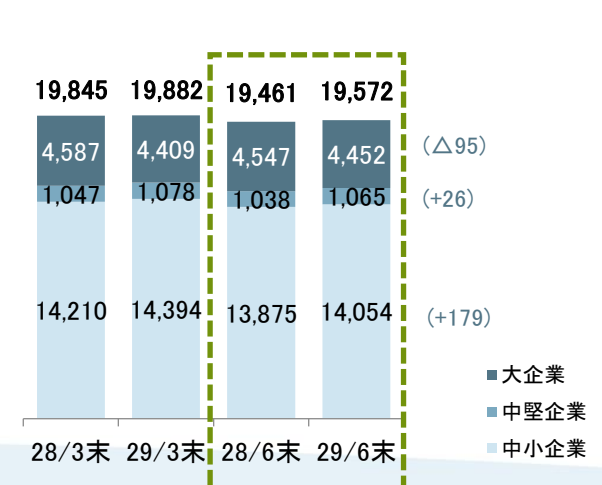
(単位:億円)



●常陽銀行



●足利銀行

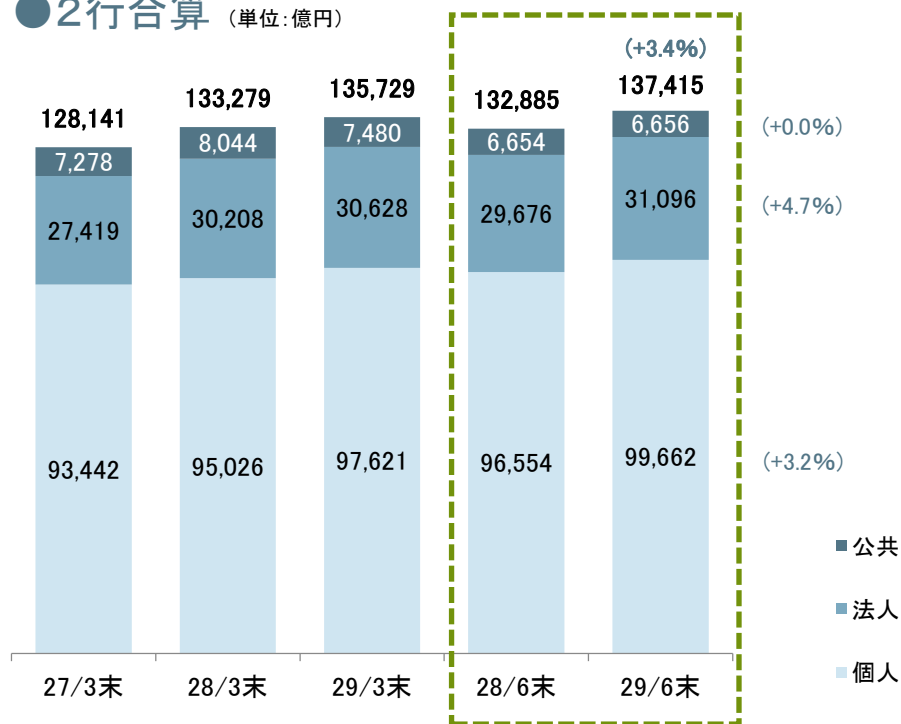


預金 人格別末残

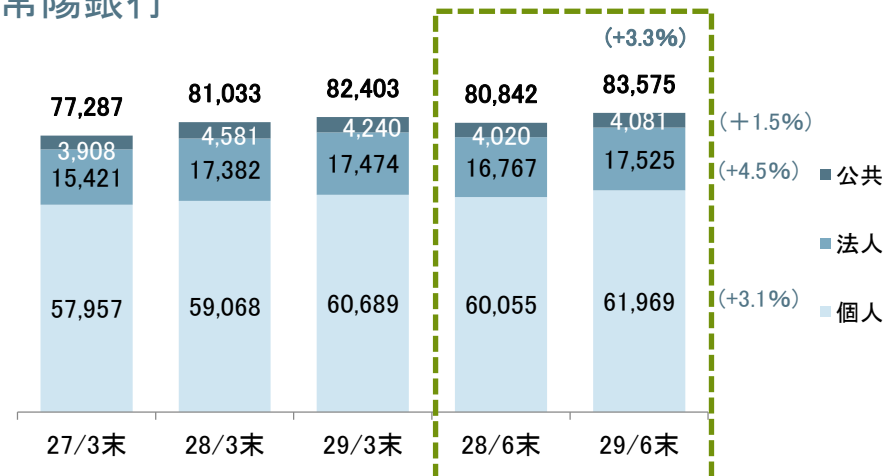
*カッコ内は前年同期末比の増減率

◇ 個人・法人預金は、増加基調を継続(個人:年率+3.2%、法人:年率+4.7%)

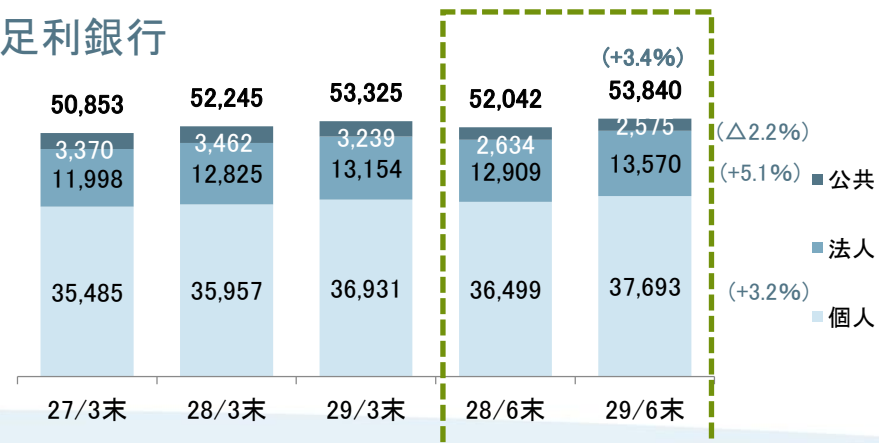
● 2行合算 (単位:億円)



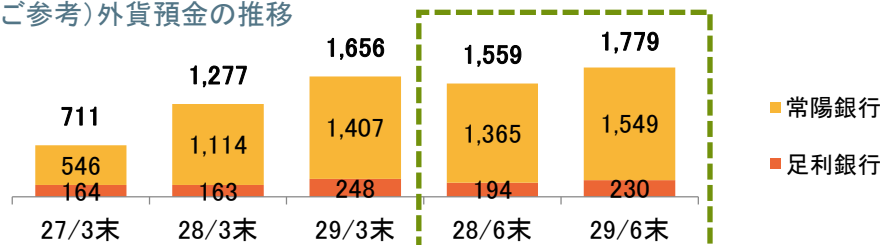
● 常陽銀行



● 足利銀行



(ご参考) 外貨預金の推移



(*) 金融は「法人」に含む。

(*)2 外貨預金には、為替予約付外貨預金、オフショア預金等を含む。

預り資産 残高・手数料

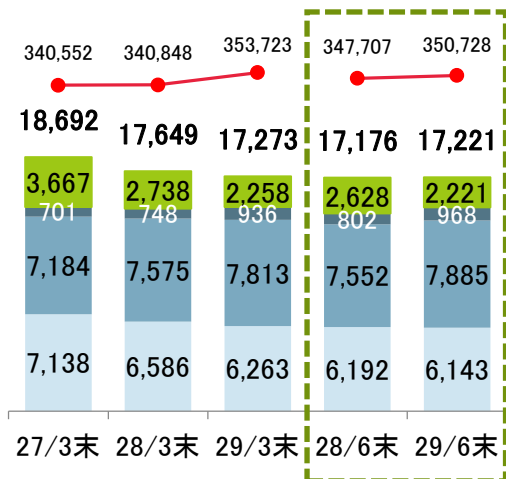
* 外貨預金は、為替予約付外貨預金、オフショア預金
FG発行のドル建てCB見合い分を除く。

- ◇ 預り資産の残高は横這い。手数料は保険の減収を主因に減少。取引先数は増加し、裾野は拡大。
- ◇ 子銀行とめぶき証券の連携強化・シナジー発現により、金融商品仲介の獲得手数料は順調に増加。

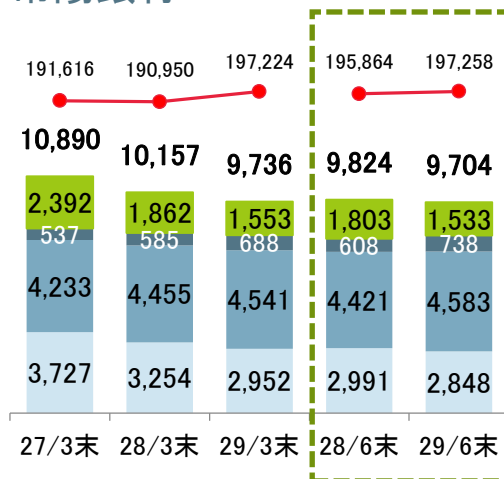
預り資産残高

● 2行合算

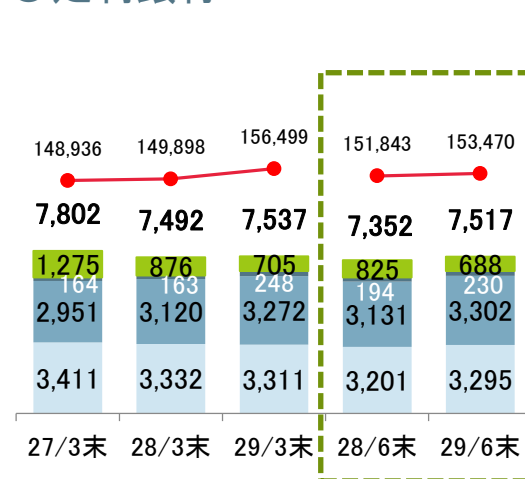
(単位: 億円、先数)



● 常陽銀行



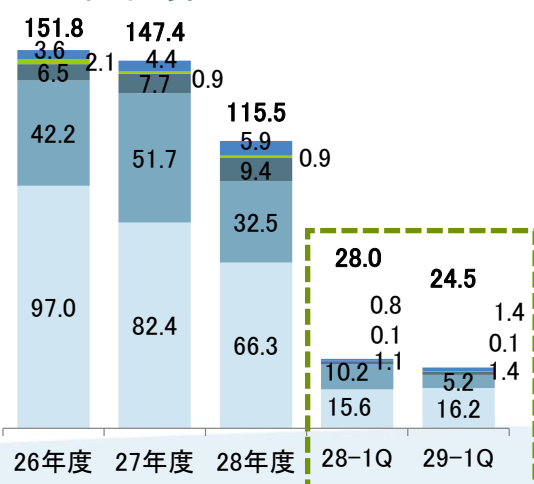
● 足利銀行



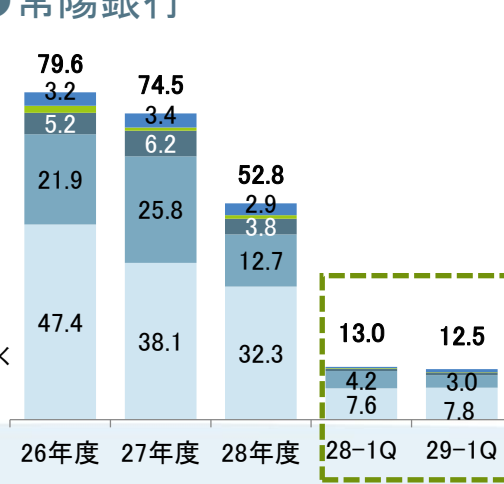
手数料

● 2行合算

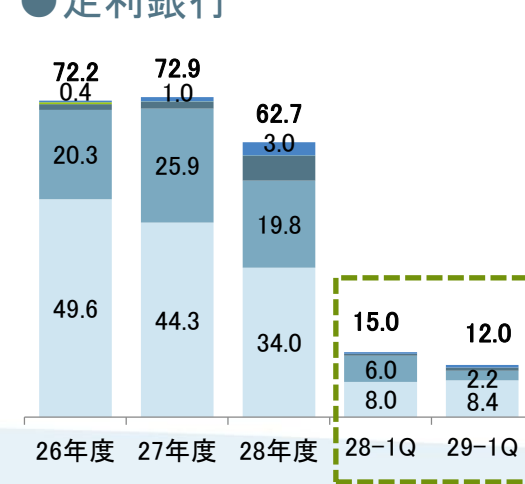
(単位: 億円)



● 常陽銀行



● 足利銀行



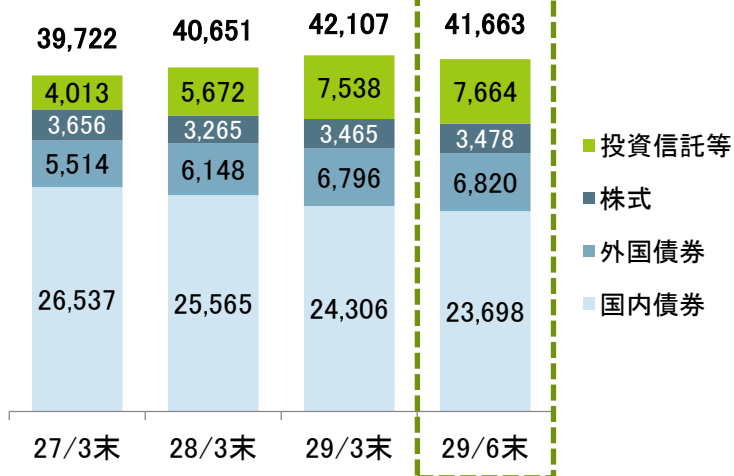
有価証券運用

- ◇ 現状の円金利水準等を踏まえ、国債償還分の再投資を抑制(国内債券残高 29年3月末比△608億円)。
- ◇ リスク管理に留意し、投資信託や外国債券等へのポートフォリオ・リバランスを継続。

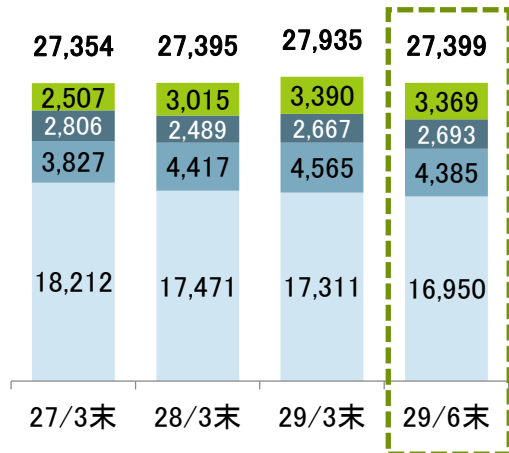
末残(貸借対照表計上額)

●2行合算

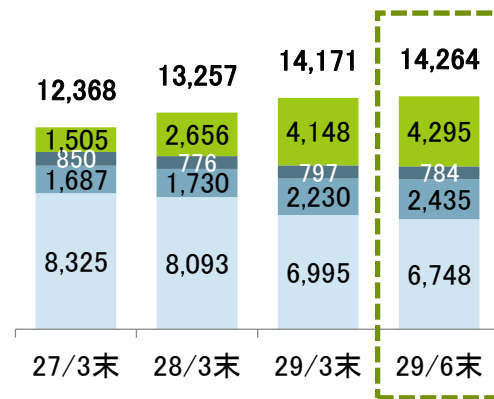
(単位:億円)



●常陽銀行



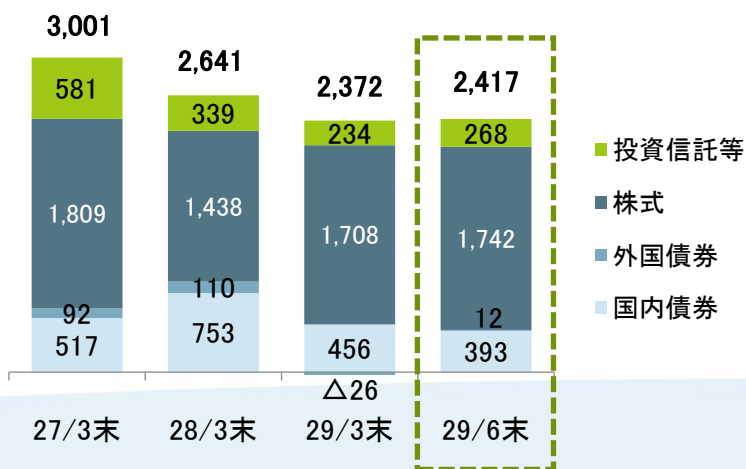
●足利銀行



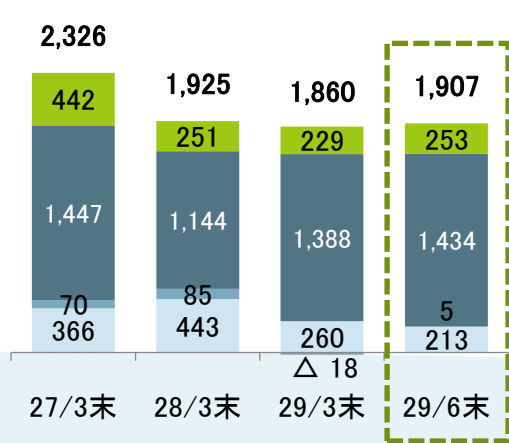
評価損益(その他有価証券)

●2行合算

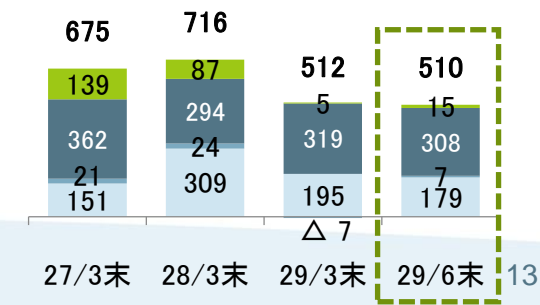
(単位:億円)



●常陽銀行

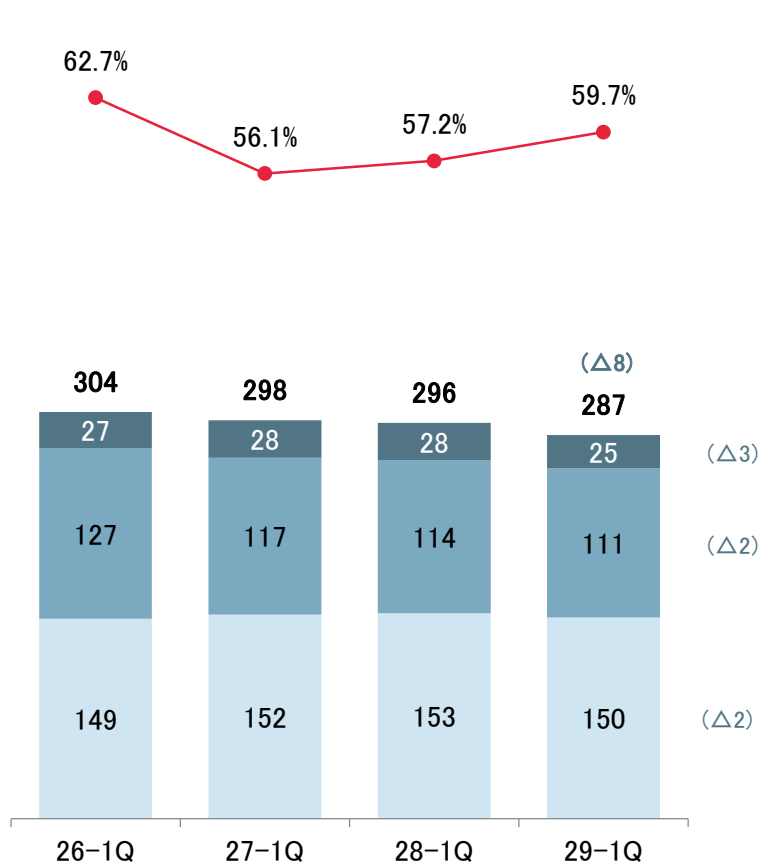


●足利銀行

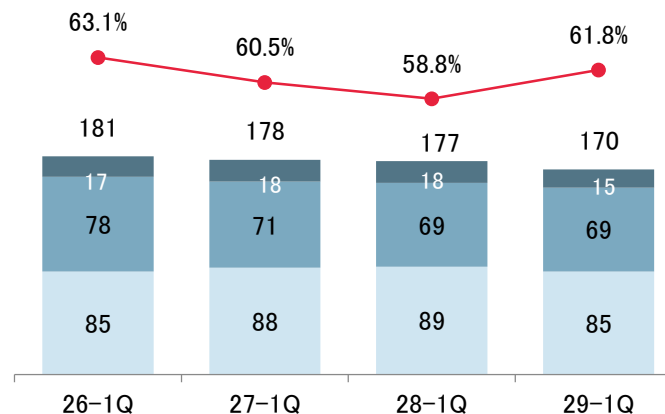


◇ 経費は、各種経費削減策の展開や、預金保険料の減少等を主因に、前年同期比△8億円(2行合算)。

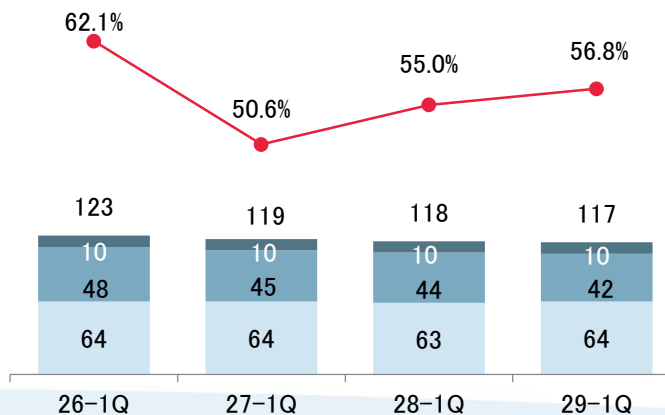
● 2行合算 (単位: 億円)



● 常陽銀行



● 足利銀行



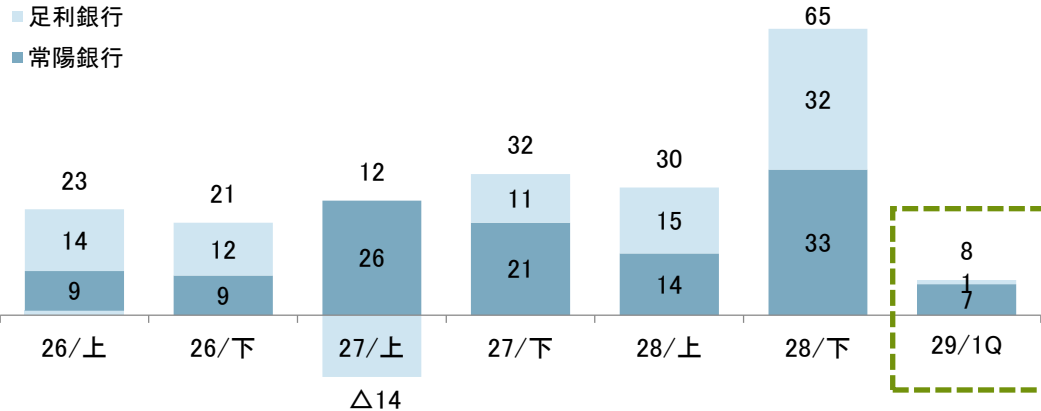
(*) OHR = 経費 / 業務粗利益

信用コスト・開示債権

◇ 信用コストは前年同期比△5億円(2行合算)。引続き、企業倒産状況(茨城県・栃木県)は落ち着いた状態。

信用コスト

(単位:億円)



<参考①> 信用コスト率

	25年度	26年度	27年度	28年度	29-1Q
常陽銀行	0.120%	0.032%	0.082%	0.079%	0.051%
足利銀行	0.193%	0.066%	△0.006%	0.112%	0.002%

<参考②> 企業倒産状況

(単位:件数・億円)

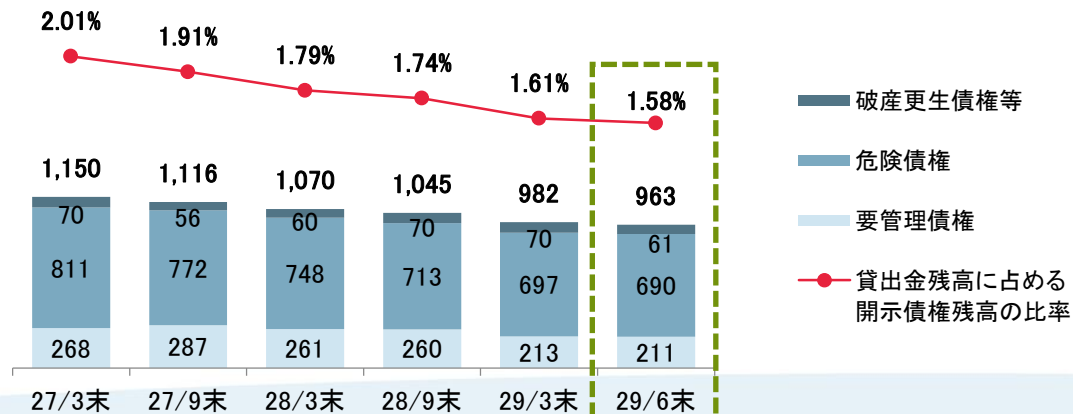
		26/上	26/下	27/上	27/下	28/上	28/下	29-1Q
茨城県	件	71	83	53	65	62	64	38
	金額	171	320	183	126	104	90	67
栃木県	件	62	86	71	59	66	78	18
	金額	110	197	62	103	123	133	33

(*) 負債総額1000万円以上の倒産状況

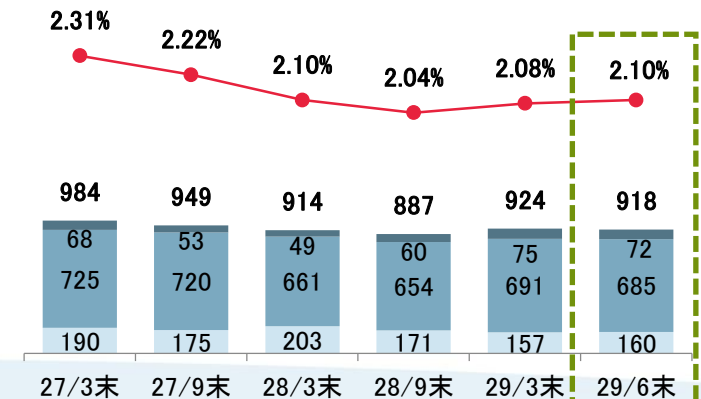
開示債権

(単位:億円)

● 常陽銀行



● 足利銀行



グループ会社(めぶきリース・めぶき証券)

銀行業以外のグループ会社の決算概要

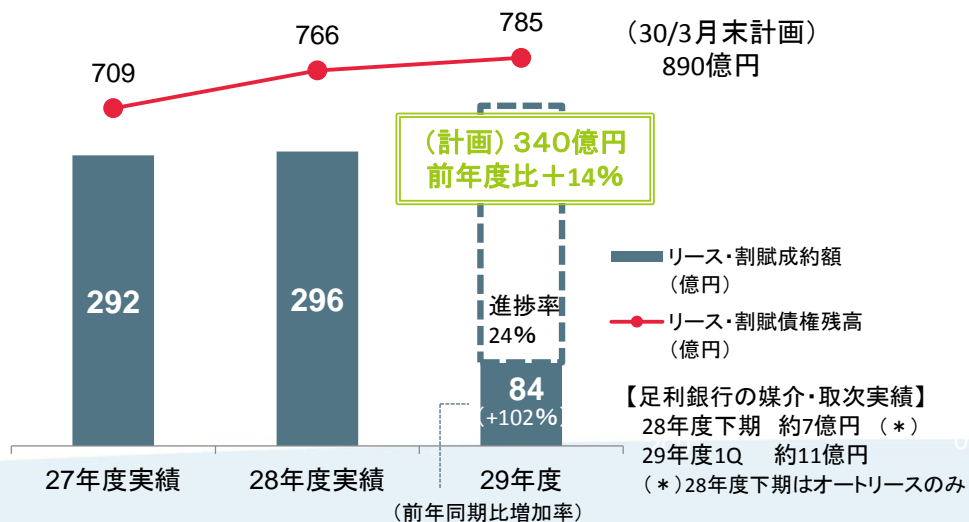
(単位:億円)

	29年度 第1四半期	進捗率	業績予想 (通期)	内訳
経常利益	16	-	-	-
四半期純利益	10	26.0%	40	めぶきリース 1億円、めぶき証券 1億円 常陽信用保証 3億円、足利信用保証 3億円、その他1億円

めぶきリース

- 29年4月 常陽リースから「めぶきリース」に商号変更。
FGの100%出資子会社化。
- グループ内のリース事業の再編(一本化)
- 栃木県内の営業体制強化(宇都宮・足利・小山の3営業部体制に)

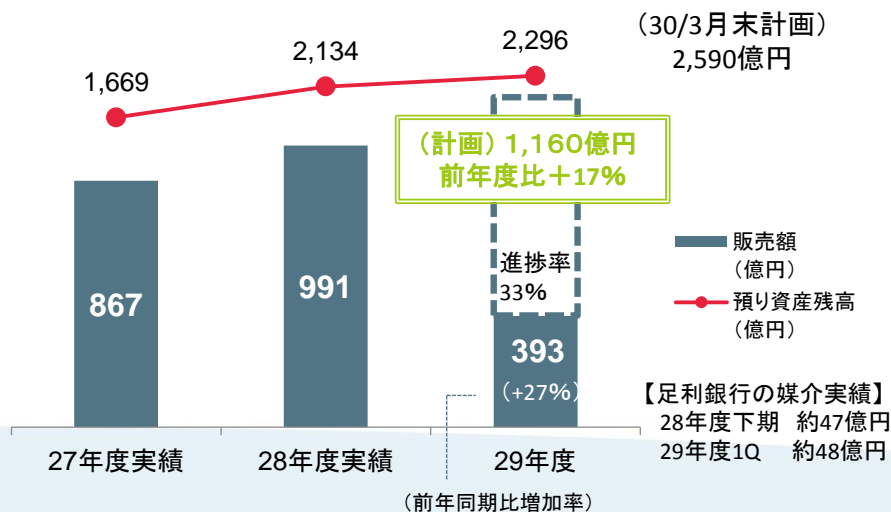
●リース・割賦成約額、債権残高



めぶき証券

- 29年4月 常陽証券から「めぶき証券」に商号変更
- 足利銀行との金融商品仲介業務取扱店舗を、従来の13店舗から128店舗に拡大。
- 多様化する資産運用ニーズに、幅広くワンストップで対応。

●販売額、預り資産残高



29年度業績見通し

- ◇ 29年度業績見通しは、当初公表(29年5月12日)から変わらず。
- ◇ 連結経常利益585億円(前年度比+62億円)、連結純利益*400億円(同△1,184億円)を計画。
- ◇ 経営統合シナジー効果は、年間27億円を見込む。

*親会社株主に帰属する当期純利益

●めぶきフィナンシャルグループ

項目	【連結】	
	中間	通期
経常利益	320	585
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	220	400

●2行合算+銀行業以外のグループ会社

(単位:億円)

項目	中間	通期
当期(中間)純利益	275	480

●2行合算

項目	【単体】		
	中間	通期	前年度比
コア業務純益	335	630	△39
経常利益	370	640	△49
当期(中間)純利益	255	440	△68

●常陽銀行(単体)

項目	【単体】		
	中間	通期	前年度比
コア業務純益	170	325	+16
経常利益	195	335	△21
当期(中間)純利益	135	230	△14

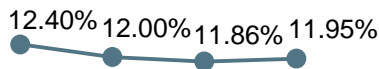
●足利銀行(単体)

項目	【単体】		
	中間	通期	前年度比
コア業務純益	165	305	△55
経常利益	175	305	△27
当期(中間)純利益	120	210	△54

自己資本比率・株主還元

自己資本比率

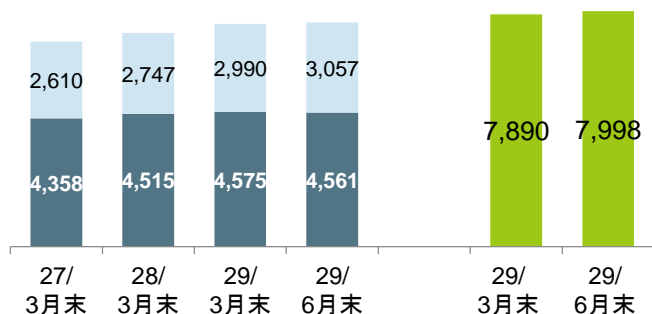
● 常陽銀行
連結自己資本比率



● 足利銀行
連結自己資本比率



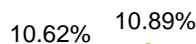
■ 足利銀行
連結自己資本
(単位 億円)



■ 常陽銀行
連結自己資本
(単位 億円)

※信用リスクアセットの算出方法
めぶきFG: 基礎的的内部格付手法
常陽銀行: 基礎的的内部格付手法
足利銀行: 標準的手法

● めぶきFG
連結自己資本比率



■ めぶきFG
連結自己資本
(単位 億円)

<ご参考> 連結自己資本比率(経過措置なしの場合)

	26/3月末	27/3月末	28/3月末	29/3月末	29/6月末
めぶきFG	-	-	-	9.49%	9.74%
常陽	11.35%	11.51%	11.17%	11.52%	11.61%
足利	8.67%	8.64%	8.77%	9.00%	9.24%

<ご参考> 格付け

○ R&I (格付投資情報センター)

○ムーティース*

めぶきFG	常陽銀行	足利銀行	常陽銀行
A	A+	A+	A2

配当政策

- グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。
- 29年度の配当は、配当政策を踏まえ年間11円を予定(配当性向 32.3%)。

【1株あたり配当の額】(29年度予定)

29年度		
年間配当	中間配当	期末配当
	11.0円	5.5円

株主優待制度

【対象】 毎年3月末日時点で1,000株以上をお持ちの株主さま

【内容】 地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。

【株主優待制度の概要】

保有株式数	特産品の金額目安	アイテム数
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当	茨城県・栃木県の特産品を中心に 488アイテム (各コースのアイテム数合計)
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当	
10,000株以上	6,000円相当	

*28年度常陽銀行株主優待実績 3167アイテム

ステップアップ 180プランの取組み ～ 個人のお客さま～

お客さまの「資産形成」応援団！

<はじめてのお客さまへ>

■ 資産運用スタート応援キャンペーン(6-12月)

新規で投信口座を開設し、①一括購入(10万円以上)または②積立投信(月額1万円以上)を申込されたお客さまに景品をプレゼント。

<もっと運用されたいお客さまへ>

■ めぶき証券(4月～)

足利銀行において、めぶき証券の仲介業務を全店で取扱開始。

■ 外国債券キャンペーン(4月～6月)

めぶき証券の仲介業務において、両行窓口、めぶき証券にて、外国債券申込者にギフト券・県産品等を進呈。

<その他>

■ めぶき証券発足記念セミナー(4月～6月)

■ 外貨預金キャンペーン(6月～9月)

お客さまの「夢のマイホーム」応援団！

<住宅ローン>

■ 女性向け住宅ローン(4月～)

- 産休・育児休暇期間中、最大2年間の元金据え置き
- 繰上返済手数料の無料化
- 団信無料(もしもの時の安心)

■ ネット申込専用住宅ローン(5月～)

- 金利の割引き
- 繰上返済手数料の無料化
- 団信無料(もしもの時の安心)

無担保ローン

■ 茨城県・栃木県内の大学進学応援プロジェクト

地域創生における人口増加の観点から、地元在住学生の他県流出防止、他県学生流入に貢献。

■ めぶきFG発足1周年記念(29年9月～30年4月 予定) マイカーローン、教育ローン金利割引キャンペーン

ステップアップ 180プランの取組み ～ 法人のお客さま～

<ものづくり>

■ 製造業実務研修会（8月）

- 大手企業が取り組んでいる安全・品質向上を目的とした改善活動の基礎を、演習を通じて習得いただく。
- 中小企業の生産管理のレベルアップ、現場管理の人材育成につなげる。

■ ひざづめミーティング 宇都宮大&茨城大開催（6-7月）

- 特定のテーマに応募した事業者さまと、大学・研究機関との少人数でのミーティングを開催。
- 事業者同士の情報交換の場としても活用。

■ 創業・第二創業支援に対する態勢の再構築

- 大学発ベンチャー支援の枠組み構築。
- めぶきビジネスアワード応募先の事業化に向けた支援。
(応募総数646件、受賞数28件)
投資見通しを踏まえ「めぶき地域創生ファンド」増額。
(投資枠 6/16 増枠 20億→40億円、既投資額13億円)

<アグリ>

■ デコ・ポコマッチングの共同展開（9月予定）

- 2月に農業生産者等と食品加工者とのマッチングを目的として試行的に開催（常陽銀行がつくば市で開催）。
- 栃木県も含めて地域を拡大し、対象者も生産者組合、市町村まで拡大して開催予定。

<海外事業展開支援>

■ 輸出支援サービスの共同展開（3月～）

- ハラル・ジャパン協会との業務提携を活用した共同推進（4月～）
- 海外ものづくり商談会・ビジネス交流会・セミナー（6月～）

<新現役交流会>

- ・ 関東経済産業局と地域金融機関等が連携し、様々な課題を抱える中小企業と、企業を退職したOBや退職予定者とのマッチング交流会を開催。
- ・ 「新製品開発」「販路拡大」などの経営課題を抱える企業と専門家をマッチングすることにより、企業の経営課題解決を支援。

本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <http://www.mebuki-fg.co.jp/>

【ご注意】

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。